

学校法人 染葉学園
理事長 清水久史

平成 29 年度 学校の自己評価・関係者評価結果書

学校法人染葉学園学校評価委員会は、教員による自己評価を実施、さらに学校関係者評価を実施しました。学校関係者評価委員は下記の皆さま方です。

平成 29 年度 学校関係者評価委員会

委員長	鈴木 敏弘 氏	静岡県家庭教育学会西部地区役員
委員	清水 睦美 氏	元小学校校長
委員	岡本 一夫 氏	介護支援専門員
委員	杉田 久子 氏	料理研究家（クッキングスタジオ チャコ主宰）
委員	赤堀 政志 氏	私立高等学校 講師
委員	和田 早美 氏	アロマセラピスト
委員	宮本 貴美子氏	歯科衛生士
委員	佐藤 唯貴 氏	(福)染葉会 豊田みなみ保育園 保育士

平成29年度 学校の自己点検・自己評価表

1. 教育理念 目標

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4	学校パンフレットやホームページ、学校生活の手引などに、明確に示されている。	4	わかりやすく書かれていて見やすく提示している。
②	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	4	講師会・入学オリエンテーション・保護者会・オープンキャンパスなど行事を通し説明した結果、理解され浸透している。	4	講師会でも全員に配布され適切である。

2. 教育活動

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育目標を達成するために必要なカリキュラムになっているか	4	多くの生徒が学びを活かした進路を選択できているため、目標達成に必要なカリキュラムであると判断できる。	4	多分野にわたっておりどのような進路にも対応できる。
②	定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	3	カリキュラムの大きな変更は無いが、今後に向けて検討はされている。	3	進路に対応するため適したものを選択できるようにする。
③	テキストや教材は適切なものを選定しているか	4	検定合格、資格取得に向けて専門教科の講師の意見を取り入れ、さらに生徒の状況を考え選定されている。	3	より使いやすい教科書の用意、標準でできるものが選択できるようにする。
④	授業の点検・評価が適切に実施されているか	4	授業後には担任と講師で状況確認を行ったり、定期的に見学を実施している。生徒からも学期ごと授業アンケートを実施し、結果は講師に提示し	4	アンケートは自分のためになっている。
⑤	成績評価は適切な方法で行われているか	4	定期試験の結果だけでなく、出席状況や授業態度、提出物の結果など総合的に判断し評価されている。	4	
⑥	目標に到達しない学生 生徒に対し適切なフォローがなされているか	4	課題を出し個別指導を行っている。状況により保護者と面談を行い、家庭と連携を取りながら行っている。	4	
⑦	進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4	進級・卒業各判定会議により適切な判定審査が行われている。	4	
⑧	教育課程表と授業は一致しているか	4	教育課程表通り適切に授業が行われている。	4	一致している。
⑨	各科目の授業は教育課程表の授業時間数と一致しているか	4	教育課程表通りの時間と一致している。	4	
⑩	資格試験の合格率は	3	資格・検定の種類により合格率に差がみられる。就職に繋がる資格・検定を絞り込むことが必要である。	3	就職に関係するものは取り組みが良い。
11	資格試験不合格者の対策は	3	次回の検定試験合格に向けて検定対策などの補講を実施した。	3	補習など希望者の対応を保証する。講師ができないところを常勤がフォローする。

3. 学生受入れ

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	学生・生徒募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	3	ブログの使用、ダイレクトメール、中学校への案内など適切である。しかし、中学校への訪問や教員説明会などは時期と回数の検討が必要である。	3	訪問時期や時間も大変であるが対応していただきたい。
②	入学案内・募集要項の内容は適切か	4	入試制度が新しくなったことにより募集要項も細部にわたり理解しやすく作りなおされた。	4	私立としての魅力をアピールする。
③	学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	開催時期や回数は適切であり、内容も充実していた。	4	「希望を持てる」「楽しく学べる」等を実感できるようにする。
④	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	新たな入試制度が実施されることにより、試験時期等が早まった。新たな制度の目的や方法を中学校に理解してもらうことで一定の評価を得られ	4	時代により入試制度が変化しているようで良い。
⑤	志願者状況、定員充足率はどうか	3	入学者は前年度より増加した。しかし定員には達していないため定員確保のために広報活動にさらに力を入れたい。	3	広報活動があと一歩である。
⑥	中途退学の理由・実情を適切に把握しているか	4	担任が実情を報告することにより全教員が把握している。	4	

4. 教職員組織

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教員要件は基準を満たしているか	4	十分に満たしている。	4	
②	教職員数は設置基準を満たしているか、又業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	4	担任・副担任の2人体制により業務は滞りなく遂行できた。	4	担任と講師のコミュニケーションが取れている。
③	専任教員一人当たりの担当科目時間数は適切か	4	適切である。	4	適切である。
④	教職員の業務分掌は明確になっているか	4	年度初めに各教職員に分掌表を配布し明確になっている。	4	
⑤	教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4	学級運営や生徒指導ではベテランが新人をサポートする体制をとり、教科については研究授業を実施している。	4	教科会議のような類似科目の教員の会議があるとよい。 (常勤と講師が参加)

5. 施設 設備等

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	講義室・実習室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	十分な面積を有している。	3	
②	実習設備は整備されているか	4	整備されている。	4	各教室を使用する講師と設備についてヒアリングをして対応していく。授業において最低限必要なものは購入する。
③	講義室・実習室の管理は適切に行われているか	4	管理担当者により適切に管理されている。	4	新人の講師に対する管理指導を徹底する。
④	学生・生徒が自学・自習できる教室を有しているか	4	有している。	4	自学・自習する雰囲気作りが必要である。
⑤	図書室は適切に整備されているか	4	整備されている。	4	
⑥	保健室は適切に整備されているか	3	衛生面に留意して管理されているが、面積的にはもう少しスペースが必要である。	3	
⑦	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4	視聴覚教材が充実しており活用されている。	4	
⑧	職員室・事務室の管理は適切に行われているか	4	管理は適切に行われている。	4	

6. 学生生活支援

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	就学支援金、奨学給付金を受けることができ、必要に応じ奨学金や教育ローンを受けることができ	4	該当者への対応ができています。
②	学生相談に関する体制が整備・機能しているか	4	担任を中心に全教職員が共通理解のもとで対応しており、十分に機能している。	4	
③	各学校行事について適切な事後反省を行っているか	4	全ての行事の際には、必ず反省会を行い次回の改善につなげている。	4	
④	学校保健安全計画は実施されているか	4	毎年、計画を立て実施している。	4	
⑤	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3	支援の体制は整備されているが正規雇用100%は達成できなかった。	3	職場で活躍している卒業生との交流の機会を設ける。
⑥	新たな求人開拓の努力はしているか	3	情報交換会や企業ガイダンスに参加し求人開拓を行った。	3	求人開拓を強化してほしい。

7. 管理運営

学 校 名		東 海 文 化 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	理事会 評議員会は適時適切に開催され、機能しているか。	4	必要に応じて適時開催され、十分な審議が行われている。	4	
②	理事会 評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	4	適切に作成、管理されている。	4	
③	就業規則などの諸規程は適切に整備されている	4	適切に整備されている。	4	
④	就業規則などの諸規程 学則等が定期的に見直されているか。	4	必要に応じて見直されている。	4	
⑤	組織間、各部門間の連携は適切に図られているか。	4	常に情報交換を行い共通理解のもとに学校運営されている。	4	
⑥	消防計画、防犯 防災訓練等は適切に整備されているか。	4	防災訓練については火災・津波それぞれを想定した訓練が適切に実施されている。	4	徹底されていて良い。
⑦	個人情報保護法を遵守しているか。	4	個人情報に関する書類は施錠できる場所に厳重に保管されている。	4	
⑧	セクシャルハラスメントに対する防止 対応策が整備されているか。	4	職員間や生徒に対してセクシャルハラスメントにならない言動を心がけている。	4	
⑨	財務分析比率は適切な数字になっているか。	4	適正である。	4	
⑩	学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか。	4	ホームページで公開している。	4	

平成29年度 学校の自己点検・自己評価表

1. 教育理念 目標

学 校 名		静岡 こども 福祉 専門 学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4	・パンフレット・ホームページ等に分かり易く提示されている。在校生、入学式のオリエンテーションには保護者を含めて伝えている。 ・オープンキャンパスなど折にふれ説明している。	4	明確に示されており、理念に沿った教育が実践されている。
②	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	3	・年度式で新人職員に説明。その際、全教員も同じ説明を聞き、再度認識をもつようになっている。 ・入学オリエンテーションで学生に説明している。	4	特に、慈しみを持った学生が多いと感じる。これからの時代に必要なコミュニケーション力や自己解決力が教育目標に盛り込まれるとなおよい。

2. 教育活動

学 校 名		静岡 こども 福祉 専門 学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育目標を達成するために必要なカリキュラムになっているか	4	・本校独自性を活かしたカリキュラムを作成、実施している。 ・介護福祉学科において国家資格を取得する上での課題に基づいたカリキュラムが作成され実施している。	4	学園内各校の特徴を活かした独自のカリキュラムとなっている。
②	定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	・制度や法改正に則して常に見直しを行っている。 ・今後も最新の情報をキャッチして見直しを行う。	4	法改正など適切にカリキュラムの見直しがなされている。
③	テキストや教材は適切なものを選定しているか	4	・出版社などの情報をもとに講師に情報提供した。 ・献本を活用してより最新で学習しやすいものを選択し選定した。 ・新しいテキストの内容において教員間で情報	4	
④	授業の点検・評価が適切に実施されているか	4	・授業日誌・アンケートを取り入れ、内容を確認・点検を行う。	4	授業(90分)の主活動のポイントと流れをプリントし、学生と共に授業を進め、最後に本時の質問やまとめを記入させ点検している講師が多い。
⑤	成績評価は適切な方法で行われているか	4	・学則に基づき実施されている。 ・講師裁量判断である。事前に講師に規定を説明し認識していただけるよう対応している。	4	日々の学習活動、内容理解を常に点検し学生評価に反映させている。
⑥	目標に到達しない学生 生徒に対し適切なフォローがなされているか	4	・学生指導が必要な場合、個別に指導を行っている。時間を要すこともあるが、目標に到達していない学生について講師と連携をとり、学生の情報を確認しながら早めに対応している。指導は情報を教員間で共有し、継続指導をしている。	4	職員の手厚い指導はもちろん、クラス組織や小グループによる相互扶助的な学習活動も学生相互の成長につながっている。
⑦	進級、卒業の判定審査は適切に実施されている	4	・判定会を設け、適切に実施されている。	4	
8	教育課程表と授業は一致しているか	4	・教育過程表通りに実施している。	4	
9	各科目の授業は教育課程表の授業時間数と一致しているか	4	・各科目ごと、教育過程表時間通りに実施している。	4	
⑧	資格試験の合格率は	4	・介護福祉学科においては全員合格100%。	4	

⑨	資格試験不合格者の対策は	4	・模擬試験、国家試験対策を計画的に1年時より行い、不合格者が出来ないように対応した。	4	
---	--------------	---	--	---	--

3. 学生受入れ

学 校 名		静 岡 こ ど も 福 祉 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	学生・生徒募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4	・広報を専門に行うスタッフが少ない中、理事長はじめ校長が直接高校ガイダンス、会場ガイダンスを一手に引き受けてくれた。オープンキャンパスも1年間計画的に実施した。	4	
②	入学案内・募集要項の内容は適切か	4	・入学案内、募集要項ともに、とてもわかりやすい表記になっている。現在ホームページなどから資料をダウンロード出来る学校もあるが本校は実施していない。	4	他校の就職状況にもアンテナを高くしていく。
③	学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	・個別対応も随時実施している。高校の行事や進路指導の時期など情報収集を行い適切な時期に説明会を開催することができた。回数を多くすることで人数が分散した月もある。今後も動向に合わせた回数を検討、実施していく必要がある。	4	複数日設定されているオープンキャンパス・説明会が有効に利用されており、複数回参加する学生も見られる。説明だけでなく、高校生が楽しいからまた来たいと思うような工夫。豊田みなみ保育園の存在をもっとクローズアップして。
④	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	・高校の進路指導の時期など情報収集を行い、AO面談などを開催することができた。	4	
⑤	志願者状況、定員充足率はどうか	3	・学園内AO入試エントリー人数が少ない。他校もさらに増え、志願者数は激減している。AO面談を推奨しない高校があるため高校の担任サインの検討が必要。	4	
⑥	中途退学の理由・実情を適切に把握しているか	4	・保護者・本人と面談を行い把握に努めている。	4	保護者との連携を密にし、本校の目指す専門職への就職と、職業意識を高めている。

4. 教職員組織

学 校 名		静 岡 こ ど も 福 祉 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教員要件は基準を満たしているか	3	・教職員は基準を満たしている。	4	適切に行われている
	教職員数は設置基準を満たしているか、又業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	・教職員は基準を満たしている。学生指導など教員の負担は増大しており、教務、総務に配置されることが望まれる。	4	適切に行われている
③	専任教員一人当たりの担当科目時間数は適切か	3	自校の講義に加え、グループ校の講義も受け持ち交流をしている。効果的ではあるが、授業準備に時間が不足気味である。	3	様々な人材が関わることで、学生が伸びている。
④	教職員の業務分掌は明確になっているか	3	・分掌の役割を明確にしてある。人数が少ないため多くの分掌を掛け持ちして負担は大きい。	3	明確にすることは組織により一長一短ある。できることはシェアしながら取り組むことが大切ではないか。
⑤	教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	2	・研修制度を活用しきれていない。 ・研修時間がとりにくい。 ・年間計画を作成し、計画的に実施する必要がある。	2	他者から積極的に学ぶ姿勢を相互に持っている。

5. 施設 設備等

学 校 名		静岡 こども 福祉 専門 学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	講義室・実習室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	・学習を行うのに十分な面積を有している。	4	
②	実習設備は整備されているか	4	・新しい物品も厳選して、購入申請して活用している。	4	ピアノの個別レッスン室は特筆すべき点である。
③	講義室・実習室の管理は適切に行われているか	4	・担当教員を割り振り、適切に行われている。	4	
④	学生・生徒が自学・自習できる教室を有しているか	4	・学生が常に自主学習ができる環境を備えている。 ・授業時間以外は、教室や器材ピアノなど学生	4	放課後など長時間学生が利用できることは、福祉校の大きな特徴の一つである
⑤	図書室は適切に整備されているか	4	・整備されている。 ・年代ごと新刊の絵本なども購入している。	4	月次の絵本の継続購入や、月刊誌の購入がなされている
⑥	保健室は適切に整備されているか	4	・常に看護師が管理、整備している。	4	
⑦	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4	・教育用機器備品は整備されている。 ・教員用、学生用、講義用パソコンも完備している。 ・機器はメンテナンス等実施。	4	各教室に大型スクリーンが設置されており講師・学生による機器利用がなされている。
⑧	職員室・事務室の管理は適切に行われているか	4	・各部屋情報漏洩防止対応や環境整備等、常に全教員意識の上、留意している。	4	

6. 学生生活支援

学 校 名		静岡 こども 福祉 専門 学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	・整備されている。学費滞納者が減るように、入学説明でも学生支援機構の予約採用についてなど説明。 ・途中で経済的困窮を申し出る学生が発生している。	4	
②	学生相談に関する体制が整備・機能しているか	4	・随時個別に相談対応を必要とする学生が増加している。 ・個人情報において、指導上の共有に課題がある	4	親身に本当に個々の学生の事を考えて対応してくれている
③	各学校行事について適切な事後反省を行っているか	4	・学園あげでの4校合同行事なども、企画運営会議を行い実施した。 ・次回実施のために、課題を確認しながらの反省を行った。	4	
④	学校保健安全計画は実施されているか	4	・学校保健安全計画のもと、計画どおり実施している。 ・インフルエンザの予防接種を促した。 ・日頃より、健康管理指導を行っている。	4	
⑤	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4	・最新の求人データが、常に学生が閲覧できるように整備している。	4	日頃から、専門職就職への知識・技術・心構えの指導がなされており、適切なアドバイスが職員からなされている
⑥	新たな求人開拓の努力はしているか	4	・実習、ボランティア先を、就職求人先として開拓している。	4	35年間の実績と蓄積されたノウハウを活かし適切な指導が行われている

7. 管理 運営

学 校 名		静 岡 こ ど も 福 祉 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	理事会 評議員会は適時適切に開催され、機能しているか。	4	・理事会 評議員会は、必要時開催している。	4	
②	理事会 評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	4	・理事会 評議員会の議事録は適切に作成、管理されている。	4	
③	就業規則などの諸規程は適切に整備されているか。	4	・就業規則など年度初めでなく変更したのものもある。	4	
④	就業規則などの諸規程 学則等が定期的に見直されているか。	4	・就業規則など、見直しされ実施している。	4	
⑤	組織間、各部門間の連携は適切に図られている	4	・組織間の連携は、会議など行い図っている。	4	
⑥	消防計画、防犯 防災訓練等は適切に整備されているか。	4	・消防計画・防犯 防災訓練等は、整備・実施している。	4	今後も、災害などによる遠距離通学生の帰宅困難な場合への対応に配慮をお願いしたい。
⑦	個人情報保護法を遵守しているか。	4	・個人情報保護法をもとに、書類管理等遵守している。	4	
⑧	セクシャルハラスメントに対する防止 対応策が整備されているか。	4	・セクシャルハラスメントに対する防止 対応策が整備されている。	4	
⑨	財務分析比率は適切な数字になっているか。	4	・財務分析比率は適切。	4	
⑩	学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか。	3	・ホームページに、学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されている。	4	

平成29年度 学校の自己点検・自己評価表

1. 教育理念 目標

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4	本校パンフレット等にきちんと明記され、周知できるようにしている。	4	理念はしっかりまとまっているが、前に出してもっと見やすい所に大きくした方がいい。
②	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	3	オープンキャンパス時の理念説明には新人教員等も積極的に入り聴いている。参加学生にも理解してもらうよう毎回必ず話をし、入学前に浸透させている。	3	昼間はいろいろな機会を通して浸透しているが、夜間は時間が少ないので徹底していないところがある。

2. 教育活動

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育目標を達成するために必要なカリキュラムになっているか	3	詳細に振り返りが出来る環境を作る必要がある。	3	国家試験に対応する為のカリキュラムになっている。限られた時間だが振り返りの時間も作ってほしい。学生の負担を減らすことはできないか。
②	定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	3	コンスタントに行うことが出来ていない。	3	現場に出ている教員が1年毎に見直し良いものに変えていく。
③	テキストや教材は適切なものを選定しているか	4	講師と相談し、毎年見直しをしている。	4	国家試験を分析して何が出ていてどう変わってきているか、今何が求められているかを見極め
④	授業の点検・評価が適切に実施されているか	3	非常勤講師への授業内容の依頼は細かく行っているが、十分伝わっているか確認できていないため、点検・評価が難しい。自分自身の授業点検・評価が難しい。	3	授業アンケートにより学生の意見を聞いている。今後も授業アンケートを継続していく。
⑤	成績評価は適切な方法で行われているか	4	試験については学科内統一のルールに則って行っている。非常勤講師が十分に理解していない場合は、試験前後に確認している。	4	従来出席状況を加味して評価してきたので、今の評価方法はいいと思う。小テストを見ていくと授業途中の集中具合など授業態度がよくわか
⑥	目標に到達しない学生 生徒に対し適切なフォローがなされているか	4	長期休みには必ず補講を行い、必要があれば随時補講対象者には教員が指導をしている。	3	学生が質問が出来る状態にしていくことが大事。授業の終わりにわからないところがないかきいている。学生が嫌だと逃げる前にモチベーションを上げるために、学生からもう一度やってもらいたい授業、強化したい授業をきいて行うといい。チームになってお互いの弱点をプッシュアップしていけるよう、課題を与える補講を行う。
⑦	進級、卒業の判定審査は適切に実施されている	4	時期を定め資料も十分に整えて行えている。	4	
8	教育課程表と授業は一致しているか	4	常々点検して教育課程表との食い違いが生じないように合わせている。	4	各教員が授業進度を考えシラバスと授業内容が揃うようにしている
9	各科目の授業は教育課程表の授業時間数と一致しているか	4	一致させるよう授業時間数のチェックを常に行っている。	4	
⑧	資格試験の合格率は	3	認定フェイシャルエステティシャンは全員合格。歯科衛生士国家試験は1名が不合格であったが合格率は全国を上回っている。	3	
⑨	資格試験不合格者の対策は	4	早い時期に面談を行い、年間計画を立て合格プランの作成を行っている。	4	見捨てないで次年度のチャレンジを促しているのはよい。しっかりとフォローできている

3. 学生受入れ

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	学生・生徒募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	3	資料の仕上がりによっては、少しスタートが遅い場合もある。夜間部に来てほしい人達からの反応が少ないので、広報活動に工夫が必要と思われる。	3	明るい楽しい部分だけ出して、社会的重要な役割がある部分を出していないのではないかと。夜間部は求めている内容を学生に聞いてみる等して修正してみてもどうか。
②	入学案内・募集要項の内容は適切か	4	昼間部・夜間部それぞれに合わせた内容になっている。	4	
③	学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	適切である。	4	
④	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	長年の経験により行っているため、入学選抜の方針に合った時期、方法がとられている。	4	
⑤	志願者状況、定員充足率はどうか	2	定員が充足されていない。今後入学者数を伸ばしていく必要がある。	2	夜間でのダブルスクールに反応がないのは、周辺の大学が少なく専門学校もまばらで、学校を組み合わせるといった要望が少ないからではないか。
⑥	中途退学の理由・実情を適切に把握しているか	4	十分な面談を行い、曖昧な理由での退学希望は再度、指導を行っている。	4	1人1人の状況を把握し、分析して面接を行うことが、今いる学生を守っていくためにも大切である。

4. 教職員組織

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教員要件は基準を満たしているか	4	教員の要件を満たしている。	4	
②	教職員数は設置基準を満たしているか、又業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	年度途中で退職者がおり、満たされていない時期があった。	3	
③	専任教員一人当たりの担当科目時間数は適切か	3	退職者の授業を分担したため、担当時間数がオーバー気味となる週があった。	4	多くなる週もあるが年間通して週当たり15時間を超えないようにしているとのことなので、よいのではないかと。
④	教職員の業務分掌は明確になっているか	4	担当すべき業務ははっきりしていて、明確である。	4	業務分掌が一覧表になっており明確である。
⑤	教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3	講習会や学会の参加が、授業等が煩雑なため希望通りには参加が出来ていない。	3	研修で学校を抜けても問題のない体制、仕組みを作る。成長を促すために一緒に考えるスーパーバイザーがいると、仕事でつまづいた時もその場で解決していける。

5. 施設 設備等

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	講義室・実習室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	十分な面積がある。	4	教室の面積に対して学生数が多い印象を受けるが必要な面積は満たしている。
②	実習設備は整備されているか	4	新しい設備が過不足なく導入され、使用可能な状態になっている。	4	
③	講義室・実習室の管理は適切に行われているか	4	いつでも使えるように整備されている。	4	
④	学生・生徒が自学・自習できる教室を有しているか	4	学生コーナーなどを自由に使えるだけでなく、教員が許可を出すことで使用していない教室で自習することが出来る。	4	
⑤	図書室は適切に整備されているか	4	整備されているが学生への新刊図書の告知が出来ていない。	4	学生からの新刊図書の希望をきいてほしい。図書の更新を学生主体にやることはできないかと。

⑥	保健室は適切に整備されているか	4	いつも必要とされる物品は用意されている。	4	
⑦	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4	様々な設備があるが、常に使用できるように整備され、よく使われている。	4	ディスプレイが小さくて字が読みにくい。プロジェクターとスクリーンを設置するのはどうか。
⑧	職員室・事務室の管理は適切に行われているか	3	必要の無い書籍等の整理や個人情報に関係する書類の適切な管理を徹底していく。	3	

6. 学生生活支援

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	整備されているが学生の書類の不備が多いので、記入の説明等の徹底が必要。	4	
②	学生相談に関する体制が整備・機能しているか	3	何かあるからではなく、定期的な面談を行えるようにする。	3	登校が苦痛になった学生に声かけてほしい。学生の表情や態度から、やめたいという言葉が出る前に学生1人1人と話し合ってほしい。専門学校では全教職員が学生の名前と顔が一致する状況なので対応しやすいと思う。
③	各学校行事について適切な事後反省を行っているか	4	終了後すぐに反省を行い共有しているが、それを反映できていないことがある。	4	
④	学校保健安全計画は実施されているか	4	実施されている。	4	
⑤	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3	カンファレンスルームがあり必要なものは整備されているが活用ができていない。	3	
⑥	新たな求人開拓の努力はしているか	4	夜間部実習先を開拓することで求人の開拓をしている。	4	

7. 管理運営

学 校 名		静岡歯科衛生士専門学校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	理事会 評議員会は適時適切に開催され、機能しているか。	4	理事会での協議決定が必要な時には開催して決議している。	4	理事会、評議員会の役割が保たれている。
②	理事会 評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	4	理事会・評議員会の協議決定がなされるとすみやかに作られている。	4	
③	就業規則などの諸規程は適切に整備されている	4	常に教員が閲覧できるようになっている。	4	
④	就業規則などの諸規程 学則等が定期的に見直されているか。	3	時期を考え迅速に見直しを行うことが必要	3	
⑤	組織間、各部門間の連携は適切に図られている	3	さらに連携を密に取っていく必要性を感じる。	3	
⑥	消防計画、防犯 防災訓練等は適切に整備されているか。	4	毎年必要な計画の見直し、訓練を行っている。	4	
⑦	個人情報保護法を遵守しているか。	4	いろいろな場面で遵守するよう研修も行っている。	4	個人情報データはもちだすことができないようになっている等個人情報の保護につとめている。
⑧	セクシャルハラスメントに対する防止 対応策が整備されているか。	4	女性の多い職場であるために学園全体で防止策が徹底している。	4	
⑨	財務分析比率は適切な数字になっているか。	4	適切である。	4	
⑩	学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか。	3	公開の時期が遅れたことがあるが、適切に公開されている。	3	

平成29年度 学校の自己点検・自己評価表

1. 教育理念 目標

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4	学校案内及び入学オリエンテーション資料に記載している。	4	
②	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	3	講話や終業式など話をする機会を増やした方がよい。	3	まず、教職員に浸透させる。ホームルームなどを利用し、具体例も挙げながら学生に伝えようと

2. 教育活動

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教育目標を達成するために必要なカリキュラムになっているか	4	教育目標を達成するための教科・講義を行っている。様々な資格が取得できるカリキュラムとなっている。	4	
②	定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	今年度、取得する業界の要望に沿って、カリキュラム及び検定の見直しを行っている。	4	卒業時、アシスタントリーダーを目指す教育目標の設定。
③	テキストや教材は適切なものを選定しているか	4	授業担当者と目的を確認し、選定を行っている。	4	
④	授業の点検・評価が適切に実施されているか	4	各授業ごとの小テスト、課題の提出状況等により適切に評価されている。	4	学生から担当講師への授業アンケートを元に、管理職と担当講師で改善に向けて面談を行うとより良い授業となる。
⑤	成績評価は適切な方法で行われているか	4	試験結果、課題の提出、授業態度等により適切に評価されている。	3	試験結果、課題の提出、授業態度等により、適切に評価されているが、非常勤講師への周知は、より一層の努力を要望する。
⑥	目標に到達しない学生 生徒に対し適切なフォローがなされているか	4	成績が不振な教科は放課後、学習させる等の対応を行った。	4	教職員の努力の様子が伺える。
⑦	進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4	適切に行われている。	4	
⑧	教育課程表と授業は一致しているか	4	一致している。	4	
⑨	各科目の授業は教育課程表の授業時間数と一致しているか	4	一致している。	4	
⑩	資格試験の合格率は	3	美容師国家試験、ネイルサロン衛生管理士、エステティシャンセンター試験、認定エステティシャン、Ajesthe認定衛生管理者、ネイリスト技能検定2級、ジェルネイル検定については100%。	3	
⑪	資格試験不合格者の対策は	4	再受験させる。	4	現時点では最大限の努力をしている。

3. 学生受入れ

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	学生・生徒募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4	適切である。	4	
②	入学案内・募集要項の内容は適切か	4	内容は適切に表現されている。	4	
③	学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	適切に行われている。	4	
④	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	設定の時期、方法は適切である。	4	
⑤	志願者状況、定員充足率はどうか	3	定員充足に向けて広報活動を強化していき	3	高校から信頼される努力をしてほしい。
⑥	中途退学の理由・実情を適切に把握しているか	4	理由・実情を把握している。	4	現状できる最大限の配慮をしている。

4. 教職員組織

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	教員要件は基準を満たしているか	3	基準を満たしている	3	
②	教職員数は設置基準を満たしているか、又業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	年度当初は満たしていたが、年度途中で退職者がおり、業務遂行が遅れる場面もみられた。	3	今後、年度途中で退職者が出ない努力をして欲しい。年度運営されていることを管理職から教職員へ指導をする。
③	専任教員一人当たりの担当科目時間数は適切か	4	適切である。	4	
④	教職員の業務分掌は明確になっているか	4	年度初めに提示され明確になっている。	3	業務分掌は明確になっているが、個々の能力に応じた配置と対応が望ましい。
⑤	教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	4	自己研修の為の費用が支給され、知識や技術を向上することができる。	4	個々の教職員が研修できる費用と機会を保証している。

5. 施設 設備等

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	講義室・実習室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	十分である。	4	
②	実習設備は整備されているか	4	整備されている。	4	
③	講義室・実習室の管理は適切に行われているか	4	毎日清掃を行い、備品の管理も適切に行われている。	4	
④	学生・生徒が自学・自習できる教室を有しているか	4	学生ホール、実習室、教室を使用し自学・自習が行える体制が整っている。	4	
⑤	図書室は適切に整備されているか	4	ヘア、ファッション等に関する本が整備されている。	4	
⑥	保健室は適切に整備されているか	4	整備されている。	4	
⑦	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4	美容、エステに関する備品ならびに教育備品が整備されており、講義・実習に活用されている。	4	
⑧	職員室・事務室の管理は適切に行われているか	4	行われている。	4	

6. 学生生活支援

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	本校独自の奨学生制度も整備されている。	4	
②	学生相談に関する体制が整備・機能しているか	4	担任をはじめ、授業担当教員にも相談することができる。教職員間で情報共有して対応する。	4	学生との個人面談において、他の教員との情報共有を学生に了解してもらうことも必要となることがある。
③	各学校行事について適切な事後反省を行っているか	4	教職員が集まり反省会を行い、次の学校行事に反省を活かしている。	4	
④	学校保健安全計画は実施されているか	4	保健室があり、必要な薬は揃えられている。	4	
⑤	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4	求人票をPCで閲覧できる環境が整っており整備されている。	4	
⑥	新たな求人開拓の努力はしているか	4	新たな美容室を訪問する等、開拓をしている。	4	

7. 管理 運営

学 校 名		静 岡 新 美 容 専 門 学 校			
評 価 項 目		評 価	自己点検 自己評価	評 価	関係者評価
①	理事会 評議員会は適時適切に開催され、機能しているか。	4	理事会・評議員会に諮るべき議案があるごとに開催している。全員出席することは難しいが役員の予定に合わせてできる限り参加できるよう開催日程を調整している。	4	
②	理事会 評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	4	理事会・評議員会ごとに作成し保管している。	4	
③	就業規則などの諸規程は適切に整備されている	4	整備されている。	4	
④	就業規則などの諸規程 学則等が定期的に見直されているか。	4	定期的に見直し、就業規則、学則の変更を行っている。	4	
⑤	組織間、各部門間の連携は適切に図られているか。	4	年度式はじめ、学園合同教職員研修会など実施し、意識統一を図っている。学校行事を4校合同で行う等グループ校間で連携している。	4	十分な連携が図られていると認められる。
⑥	消防計画、防犯 防災訓練等は適切に整備されているか。	4	年2回、防災訓練を行っている。	4	年間計画に沿って、適切に整備されており問題ない。
⑦	個人情報保護法を遵守しているか。	4	遵守している。	4	
⑧	セクシャルハラスメントに対する防止 対応策が整備されているか。	4	就業規則に明示されている。	4	
⑨	財務分析比率は適切な数字になっているか。	4	適切である。	4	学生数に応じた、適切な財務比率となっている。
⑩	学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか。	4	ホームページで公開されている。	4	